

旧丹波少年自然の家再整備・運営事業

基本情報提供書

令和6年7月

兵庫県丹波市

【目次】

第1章 総則	2
1. 本書の位置づけ	2
2. 自然の家の概要	2
3. 事務組合の概要	2
4. 自然学校とは	3
5. 自然の家の利用希望アンケート調査結果〔参考情報〕	3
第2章 基本情報	7
1. 施設の所在	7
2. 施設の概要	8
(1) 土地（敷地）に関する情報（本事業の対象区域）	8
(2) 建物（施設）に関する情報（本事業の対象施設）	9
3. 施設の配置図	12
4. 各施設の平面図	13
5. 施設写真	18
6. 自然の家周辺の環境	25
(1) 青垣地域内の市関連施設の一覧	25
(2) 青垣地域内のその他、周辺施設等	25
(3) 青垣地域以外の市関連施設	25
第3章 自然の家の管理運営体制	26
1. 自然の家の運営状況	26
(1) 利用状況	26
(2) 運営時の利用料金体系	27
(3) 歳入歳出の状況	28
(4) 各種許可（権利）情報	29
(5) 職員体制及び業務委託の内容	29
2. 施設の変遷	31
3. 修繕・改修について	35
(1) 事務組合運営時の劣化診断調査により改修等が必要と想定される箇所	35
(2) 事務組合運営時の維持管理の中で、改修等が必要と想定される箇所	35
(3) その他の留意事項	37

第1章 総則

1. 本書の位置づけ

本基本情報提供書は、丹波市（以下「市」という。）が、旧丹波少年自然の家再整備・運営事業（以下「本事業」という。）に関して民間提案を募集するにあたり、旧丹波少年自然の家（以下「自然の家」という。）の施設概要及び地理的条件等の基本的な情報を示したものです。

なお、本基本情報提供書は、本事業の募集要項、要求水準書及び審査基準書と一体を成すものです。

2. 自然の家の概要

自然の家は、兵庫県の東北部・丹波市に位置し、標高約 600 メートルの山々に囲まれた平地にあり、周辺は「倉町野」と呼ばれ、春は桜の名所として知られ、四季折々の自然を背景に多種多様な生物たちが暮らしています。

施設は、自然の中での集団宿泊生活や各種の体験活動に加え、都市と農村の生活と教育の交流を重視し、青少年の健全な育成への寄与と阪神・丹波両地域の連帯の強化を目的とし、昭和 53 年（1978 年）に阪神・丹波地域初の連帯事業として竣工されました。

昭和 57 年（1982 年）には、当時の皇太子（現：上皇）ご夫妻が全国豊かな海づくり大会にご出席のご帰途にお立寄りくださり、子どもたちの姿をご覧いただいたことは、この施設の歴史に長く残る出来事となりました。昭和 63 年（1988 年）から兵庫県が自然学校を開始し、平成 3 年（1991 年）には、県内全小学校に広がる中で、自然の家は、都市と農村の交流という創設理念に加え、阪神・丹波地域の子どもの自然学校の活動拠点として、重要な役割を担ってきました。

令和 6 年 3 月末に、運営を担っていた丹波少年自然の家事務組合（以下「事務組合」という。）の解散に伴い、施設は閉館することとなりましたが、竣工から 40 年以上の長きにわたる運営の中で、これまで約 200 万人以上の利用があり、利用した子ども達が大人になって、その子ども達にも利用されるなど、世代を超えて愛されてきた施設でありました。

3. 事務組合の概要

自然の家は、社会教育施設として阪神・丹波地域 9 市 1 町（尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、丹波市、丹波篠山市）により構成される一部事務組合において、各市町からの負担金を主な財源として、運営が行われてきました。

そのため、営利を目的としない阪神・丹波地域の子ども達の自然学校を主な受け入れ事業とし、また、独自の交流プログラムや企業研修の場として、営利を目的としない比較的安価な料金体系で運営されてきました。

しかしながら、近年の社会環境の変化は運営体制にも大きな影響を与え、令和 6 年 3 月末をもって、一部事務組合の枠組みが解消されることとなりました。

4. 自然学校とは

兵庫県内の公立小学校5年生及び義務教育学校前期課程5年生の子ども達を対象に、学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、子ども達が人や自然、地域社会とふれ合い、理解を深めるなど、長期宿泊体験を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的として、4泊5日以上の行程で実施される教育活動です。

5. 自然の家の利用希望アンケート調査結果【参考情報】

市において、自然の家の再整備に向けて、利用の意向や再整備の方向性を把握するため、利用希望アンケート調査を実施しました。

下記は、参考情報としてご確認ください。

【アンケート調査結果】

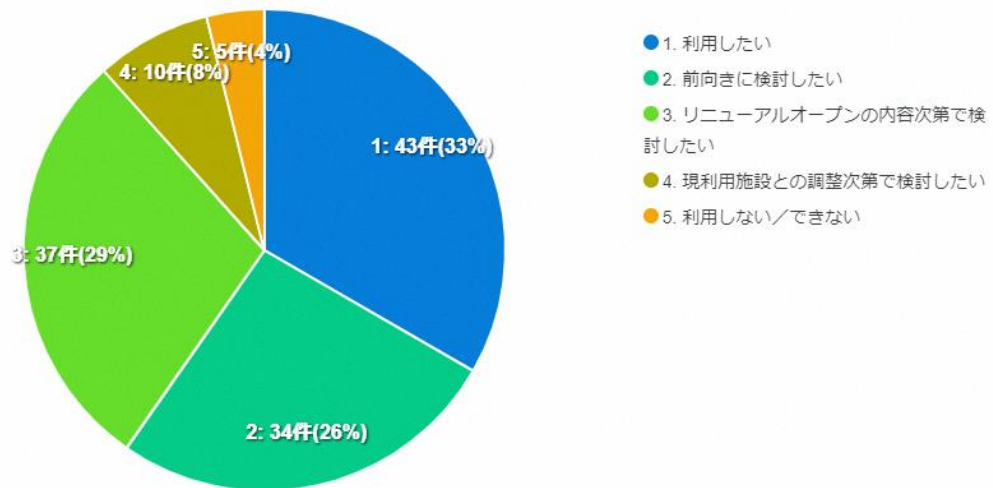
調査対象：主として自然学校で利用されていた阪神・丹波地域9市1町の公立小学校 205校

調査期間：令和6年6月6日～令和6年6月28日まで

回答件数：129校（回答率：63％）

Q. 自然の家がリニューアルオープンした場合、利用したいと思われませんか。

【回答結果】

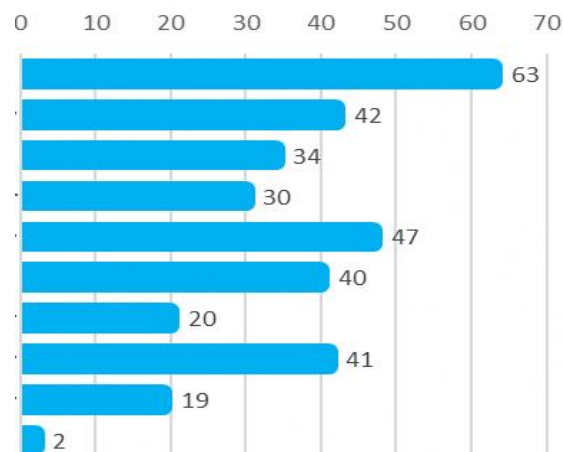


利用したい・前向きに検討したいと回答された小学校は全体の 59%となりました。

Q. 利用したい・前向きに検討したいを選択された方について、その理由は何ですか（複数選択可）。

【回答結果】

過去に利用していたから
 利用料金が手ごろな価格を期待するから
 施設が小学校の近くにあるから
 食事メニューの充実やアレルギーへの対応を期待するから
 活動体験プログラムの内容充実を期待するから
 施設周辺が自然豊かであるから
 設備が充実（バリアフリー化）しているから
 学校では得難い活動や体験を期待するから
 施設やスタッフの充実により教員の負担減を期待するから
 その他



（その他の内容）

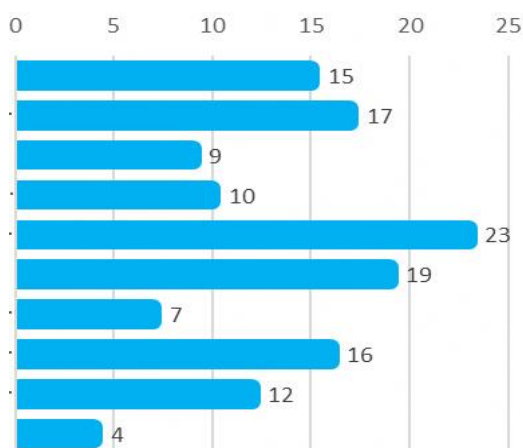
- ・前任校等での利用経験から利用しやすくぜひ利用したい。復活を強く希望します。
- ・美方高原自然の家より近いから

利用を希望する理由として、「過去に利用していたから」が一番多く、次いで、「活動体験プログラムの内容充実を期待するから」が多い結果となりました。

Q. リニューアルの内容次第で検討したいを選択された方について、その理由は何ですか（複数選択可）。

【回答結果】

過去に利用していたから
 利用料金が手ごろな価格を期待するから
 施設が小学校の近くにあるから
 食事メニューの充実やアレルギーへの対応を期待するから
 活動体験プログラムの内容充実を期待するから
 施設周辺が自然豊かであるから
 設備が充実（バリアフリー化）しているから
 学校では得難い活動や体験を期待するから
 施設やスタッフの充実により教員の負担減を期待するから
 その他



（その他の内容）

- ・新しくなった施設内容を確認したいから
- ・現在利用している施設では、本校は5月、11月後半から12月の利用しかできません。そのため準備期間が十分とれる時期や気候のいい時期に実施でき、予算内に収まるのであれば検討したいと考えています。
- ・市内小学校の優先利用枠の都合で、現利用施設が利用できない可能性がある。
- ・現在利用している施設より近いから

利用を希望する理由として、「活動体験プログラムの内容充実を期待するから」が一番多く、次いで、「施設周辺が自然豊かであるから」が多い結果となりました。

Q. 実際に自然の家を利用される場合、何泊を予定（計画）されますか。

【回答結果】

項目	1泊2日			2泊3日			4泊5日			合計		
	校数	児童数	クラス数	校数	児童数	クラス数	校数	児童数	クラス数	校数	児童数	クラス数
利用したい	0校	0人	0クラス	10校	226人	12クラス	33校	2,446人	85クラス	43校	2,672人	97クラス
前向きに検討したい	0校	0人	0クラス	8校	249人	9クラス	26校	2,274人	76クラス	34校	2,523人	85クラス
リニューアルオープンの内容次第で検討したい	1校	21人	1クラス	2校	40人	2クラス	34校	2,816人	95クラス	37校	2,877人	98クラス
現利用施設との調整次第で検討したい	0校	0人	0クラス	2校	20人	2クラス	8校	666人	23クラス	10校	686人	25クラス
合計	1校	21人	1クラス	22校	535人	25クラス	101校	8,202人	279クラス	124校	8,758人	305クラス

※3泊4日の利用を希望される小学校は0校でした。

令和8年度に自然学校を受け入れることを想定し、小学3年生の児童及びクラス数（令和6年4月1日時点）の回答を求めたところ、利用したい・前向きに検討したいと回答をされた小学校で、合計5,195人・182クラスと回答がありました。

Q. 令和8年度に自然学校を実施される場合、利用施設はいつ頃に決定されますか。

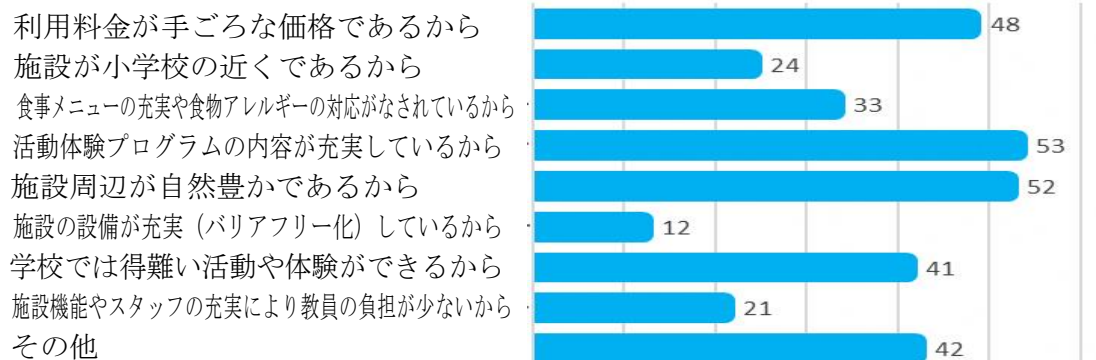
【回答結果】

項目	決定時期	R5年度 (下半期)	R5年度中	R6年度 (上半期)	R6年度 (下半期)	R7年度中	R7年度 (上半期)	R7年度 (下半期)	R8年度中	R8年度 (上半期)	R8年度 (下半期)	不明	合計
利用したい		2校	2校	5校	9校	1校	17校	1校	1校	4校	1校	0校	43校
前向きに検討したい		3校	0校	2校	12校	0校	9校	3校	0校	2校	1校	2校	34校
リニューアルオープンの内容次第で検討したい		4校	0校	4校	8校	0校	14校	1校	1校	3校	1校	1校	37校
現利用施設との調整次第で検討したい		0校	0校	0校	1校	3校	4校	0校	0校	2校	0校	0校	10校
利用しない／できない		0校	0校	0校	0校	2校	2校	0校	0校	1校	0校	0校	5校
合計		9校	2校	11校	30校	6校	46校	5校	2校	12校	3校	3校	129校

自然学校の利用施設の決定は実施年度の前年度の上半期及び前々年度の下半期に決定される小学校が多い結果となりました。

Q. 現利用施設を決定された理由は何ですか。（複数選択可）

【回答結果】



(その他の内容) ※<>は類似回答数

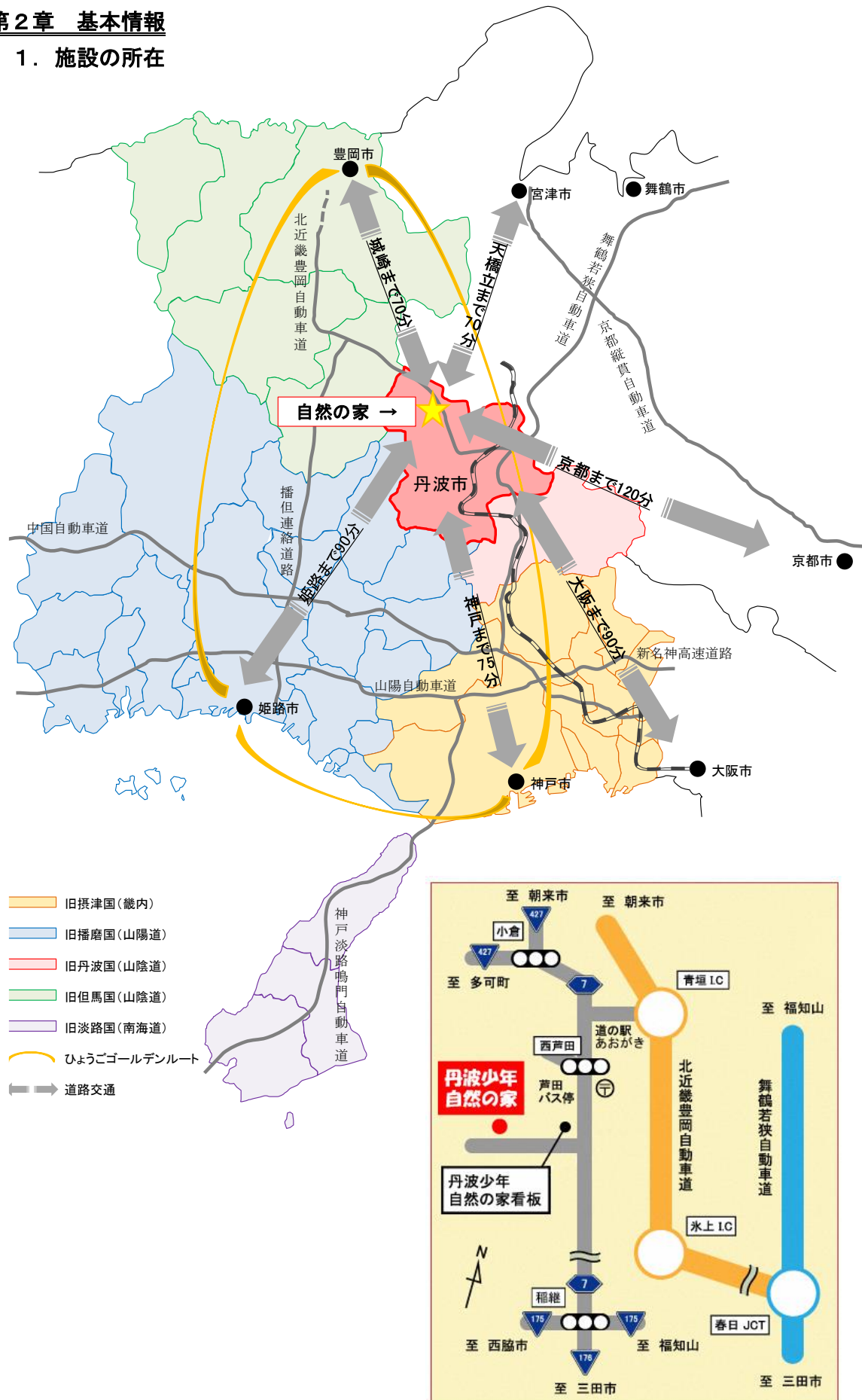
- ・大人数での受け入れに対応している< 9 >
- ・過去に利用しているから< 4 >
- ・ほかは受け入れてもらえなかった< 4 >
- ・リーダーを手配してくれる
- ・海の活動ができるから
- ・現地スタッフ、市教委、学校がそれぞれの間での対応に慣れているため、円滑に進めやすいのではないか
- ・交通手段を考えると、他に行ける所がなかったから
- ・市教委からの提案または指定< 10 >
- ・他の施設より近いから。また、他の施設より自分たちのプログラムに合っているから
- ・丹波少年自然の家が閉鎖されたから< 9 >
- ・抽選に当選し、利用しやすかったため

小学校が自然学校での利用施設を決定される理由は、「活動体験プログラムの内容が充実しているから」が一番多く、次いで「施設周辺が自然豊かであるから」「利用料金が手ごろな価格であるから」が多い結果となりました。

上記のほか、自由意見においては、非常に多くの閉鎖を惜しむ声や再開を望む声をいただきました。

第2章 基本情報

1. 施設の所在



2. 施設の概要

(1) 土地（敷地）に関する情報（本事業の対象区域）

所在地	兵庫県丹波市青垣町西芦田イケ 2032 番 2			
敷地面積	149,484 m ²			
接道状況	市道「井の口中井線」「西芦田栗住野線」「倉町岩屋線」 ※自然の家の敷地内には岩屋山へ通ずる市道が配置されているため、敷地内への出入りについて、制限はできません。			
法令等に基づく制限	丹波都市計画区域(非線引き)			
用途地域	指定なし			
建ぺい率	60%			
容積率	200%			
その他の制限	兵庫県丹波地域都市計画区域 丹波市環境形成区域 土砂災害警戒区域内（センターロッジ・ログキャビンエリア） 土砂災害特別警戒区域（ログキャビン（ふくろうの宿））			
アクセス	・貸切バス・自家用車利用 阪神地域から北近畿豊岡自動車道経由で約 1 時間 30 分～2 時間 兵庫県北部から北近畿豊岡自動車道経由で約 1 時間～1 時間 30 分 姫路方面から播但連絡道路経由で約 1 時間 30 分 青垣 I.C から約 5 分 ・JR 福知山線石生駅からウイング神姫（佐治・住民センター行）約 40 分 ・芦田バス停下車 徒歩（1.3km） 約 12 分			
供給処理 施設の状況	電気	関西電力 （高圧 6,600V）	ガス	プロパンガス
	上水道	公共水道	下水道	合併処理槽（2 基）
利害関係	【土地所有者】 西芦田他二ヶ区林野管理組合 ※土地の賃貸借契約は、市と土地所有者で締結			

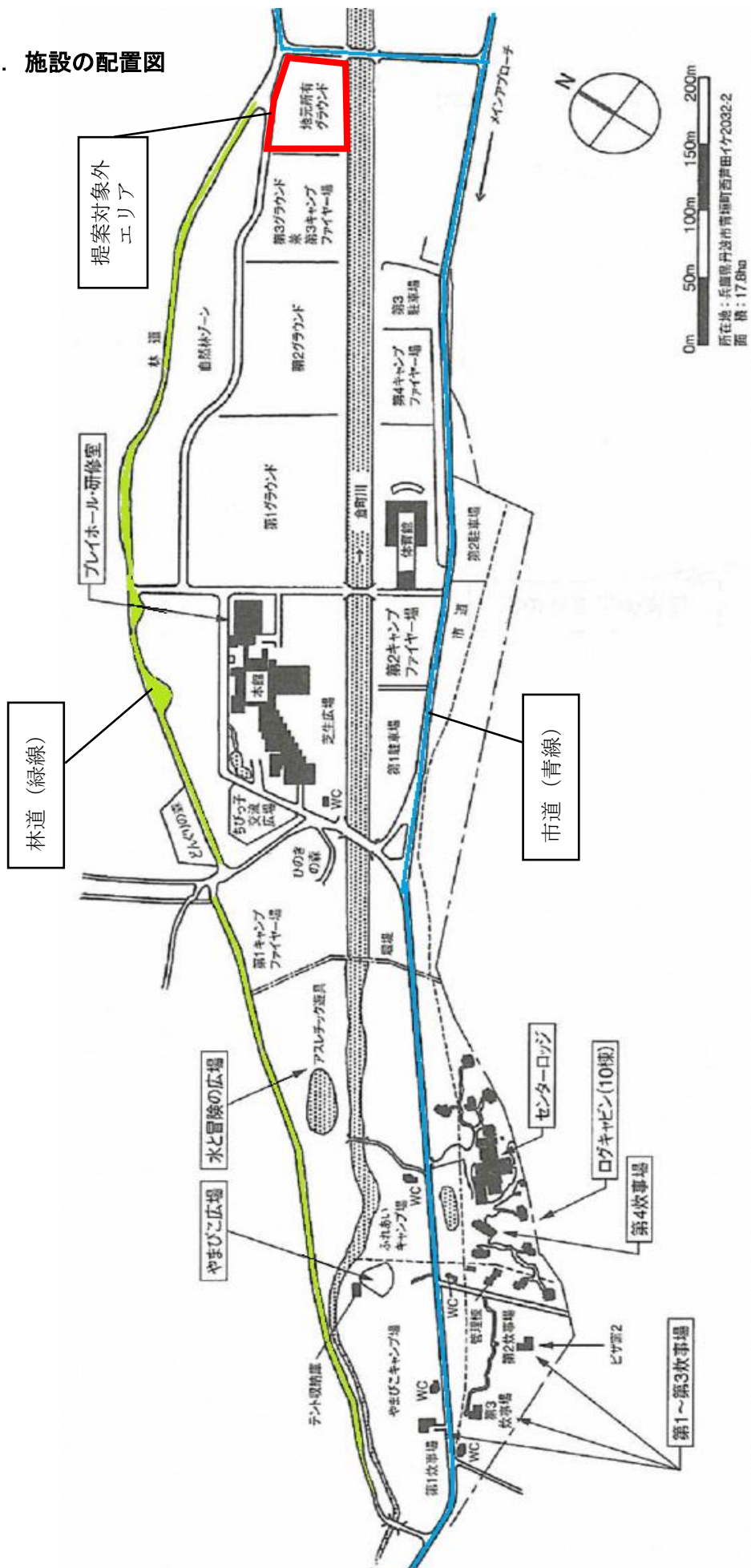
(2) 建物（施設）に関する情報（本事業の対象施設）

施設名	旧丹波少年自然の家					
閉鎖前の用途	青少年教育施設					
駐車台数	100 台					
建物	本館	竣工年度	昭和 53 年	宿泊定員	270 名(宿泊室 20)	
		延床面積	4,670 m ²	耐震性	有	
		構造	鉄筋コンクリート	階数	3 階建	
		建物構成	宿泊室、食堂、浴室、トイレ、洗面所、1～3 研修室、プレイホール、医務室、ホール、ピロティ、指導員宿泊室、指導者研修室、指導者ミーティング室、デッキテラス、創作と交流の広場			
		備考	スロープ、車イス対応エレベーターあり			
	センターロジ	竣工年度	平成 3 年	宿泊定員	86 名(宿泊室 13)	
		延床面積	993 m ²	耐震性	—	
		構造	鉄骨造	階数	2 階建	
		建物構成	宿泊室、食堂、浴室、トイレ、洗面所、ホール、医務室、ミーティング室			
		備考	スロープあり			
	ログキャビン	竣工年度	平成 3 年	宿泊定員	88 名(10 棟)	
		延床面積	478 m ²	耐震性	—	
		構造	木造	階数	1 階建	
		建物構成	ミニキッチン、トイレ付内、			
		備考	1 棟はバリアフリー対応			
	体育館	竣工年度	平成 3 年	宿泊定員	—	
		延床面積	1,228 m ²	耐震性	—	
		構造	鉄骨造	階数	1 階建	
		建物構成	アリーナ、事務室、更衣室、ホール、トイレ、ピロティ			
	炊事場	竣工年度	昭和 53 年管理棟、平成 3 年第 4 炊事場、平成 14 年第 1～3 炊事場、第 4 炊事場食堂棟（計 4 棟）			
		延床面積	768 m ²	耐震性	—	
		構造	鉄骨造	階数	1 階建	

野外施設	第1グラウンド	竣工年度	昭和56年	面積	11,680 m ²
		備考	真砂土		
	第2グラウンド	竣工年度	昭和56年	面積	6,990 m ²
		備考	真砂土		
	第3グラウンド兼 第3キャンプファイヤー場	竣工年度	昭和56年	面積	3,870 m ²
		備考	真砂土		
	ちびっこ交流 の広場	竣工年度	平成4年	面積	1,138 m ²
		備考	真砂土・掲揚柱20本		
	水と冒険の広場	竣工年度	平成18・19年	面積	4,000 m ²
		備考	アスレチック遊具(9基)		
	水と冒険の広場 (つかみ取りの池)	竣工年度	平成3年	面積	150 m ²
		備考	人工池		
	キャンプ場	竣工年度	平成9年	面積	—
		備考	テントサイト(20箇所)		
	第1キャンプファイヤー場	竣工年度	昭和53年	面積	850 m ²
		備考	砂利		
	第2キャンプファイヤー場	竣工年度	昭和53年	面積	1,200 m ²
		備考	芝草		
	第4キャンプファイヤー場	竣工年度	昭和53年	面積	1,800 m ²
		備考	土		
	やまびこ広場	竣工年度	昭和53年	面積	179 m ²
		備考	ステージ		
	テント収納庫	竣工年度	平成12年	面積	30 m ²
		備考	木造		
	天体望遠鏡倉庫	竣工年度	平成10年	面積	19 m ²
		備考	木造		
	野外トイレ	竣工年度	昭和53年	面積	33 m ²
		備考	鉄骨造		

	野外トイレ	竣工年度	昭和 53 年	面積	33 m ²
		備 考	鉄骨造		
	野外トイレ	竣工年度	平成 3 年	面積	33 m ²
		備 考	鉄骨造		
	野外トイレ (車イス利用可)	竣工年度	昭和 56 年	面積	32.8 m ²
		備 考	鉄筋コンクリート		
	野外トイレ (車イス利用可)	竣工年度	平成 10 年	面積	8 m ²
		備 考	鉄筋コンクリート		
	ログハウス いろりの家	竣工年度	平成 3 年	面積	51 m ²
		備 考	木造		
ログハウス	竣工年度	平成 3 年	面積	88 m ²	
	備 考	木造（3 棟）			
そ の 他	第 3 グラウンドの横に地元所有のグラウンド（敷地内）があり、本募集要項にかかる提案の対象外エリアとなりますので、提案内容に含まないように注意してください。詳しい位置は次項をご確認ください。				

3. 施設の配置図

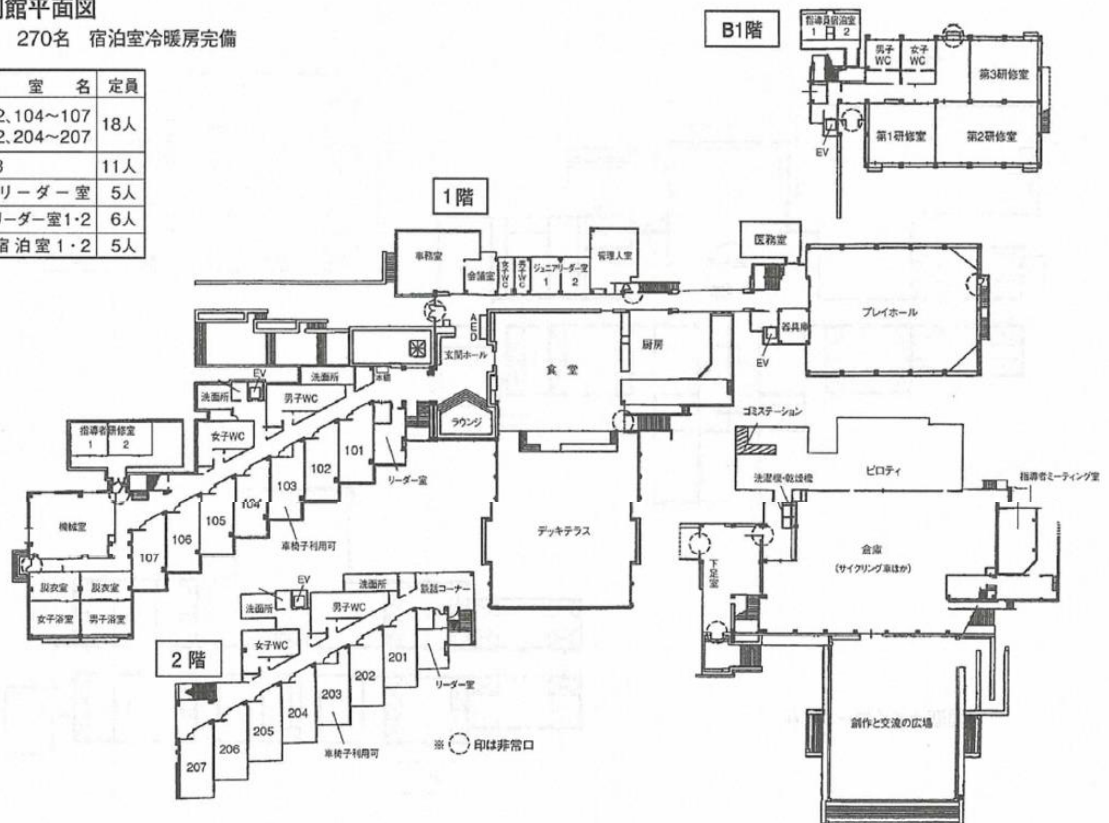


4. 各施設の平面図

本館・別館平面図

宿泊定員 270名 宿泊室冷暖房完備

宿 泊 室 名	定員
101、102、104～107 201、202、204～207	18人
103、203	11人
1・2階リーダー室	5人
ジュニアリーダー室1・2	6人
指導員宿泊室1・2	5人



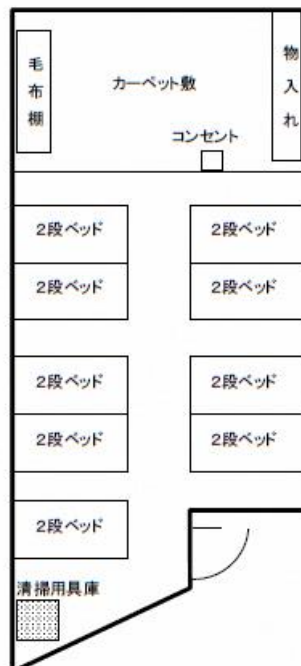
本館宿泊室 平面図

101～102、104～107 号室
201～202、204～207 号室

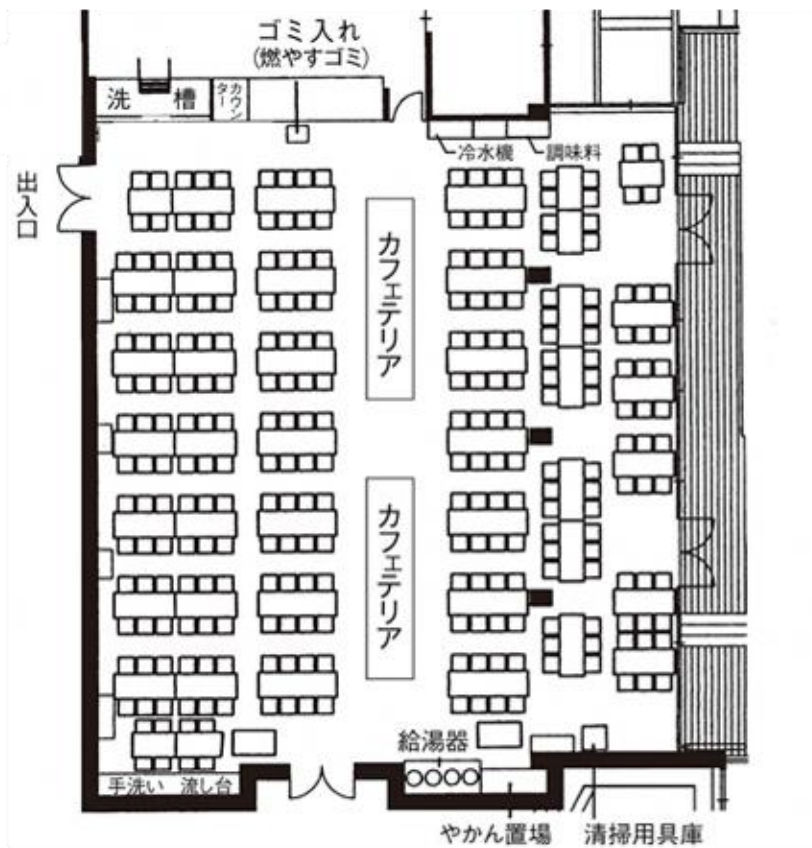
(18人定員)

103、203 号室

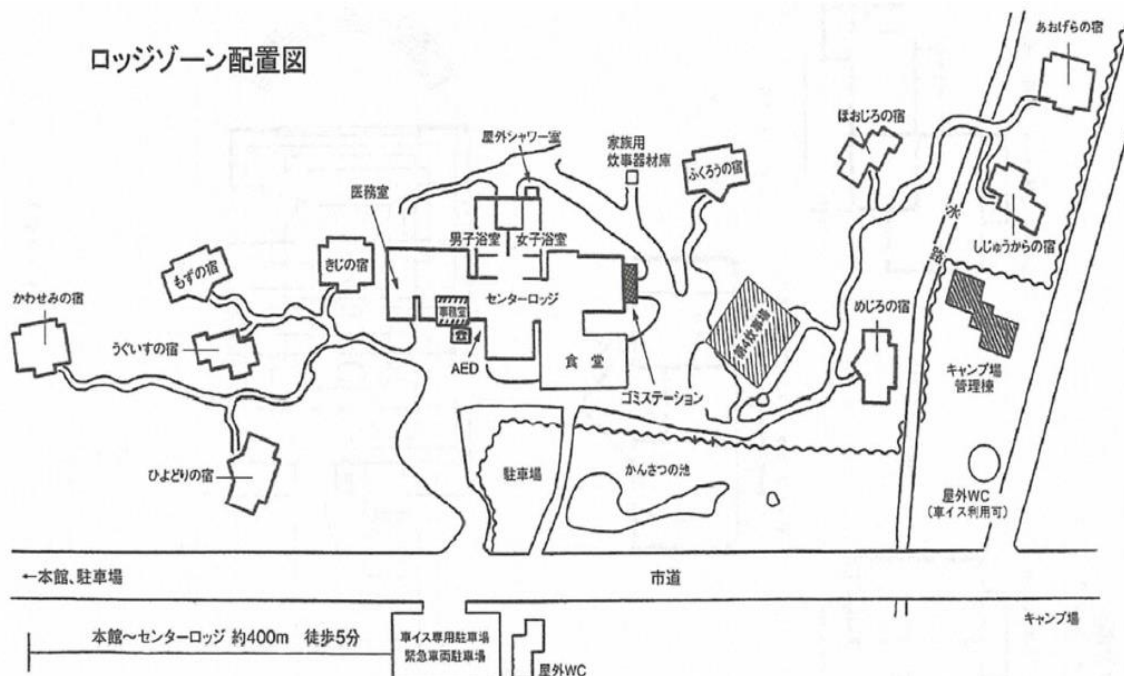
(11人定員)



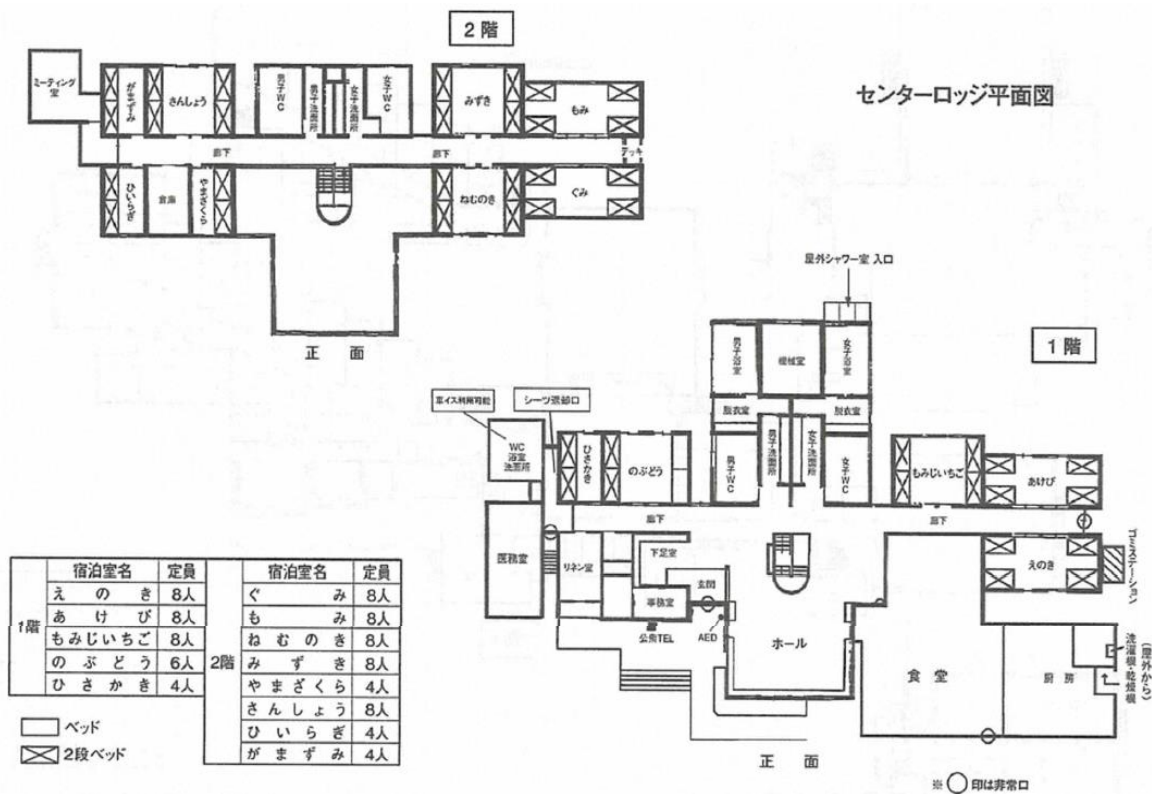
本館食堂 座席配置図 274席



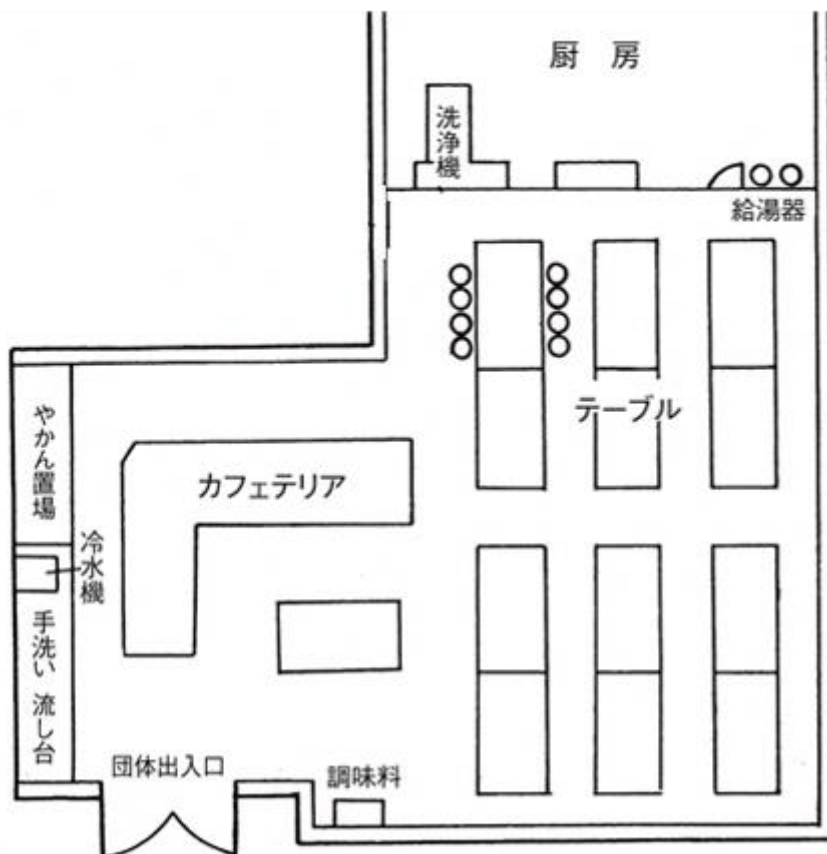
ロッジゾーン配置図



宿泊室名	定員	宿泊室名	定員
かわせみの宿	8人	ふくろうの宿	10人
もずの宿	10人	めじろの宿	10人
うぐいすの宿	8人	ほおじろの宿	8人
ひよどりの宿	10人	しじゅうからの宿	8人
ぎじの宿	8人	あおげらの宿	8人



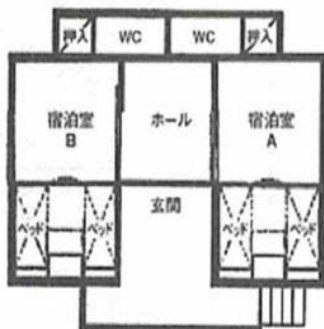
センターロッジ食堂 座席配置図 104席



ログキャビン平面図

●全棟ホールにインターホン設置

Aタイプ(3棟 — 8人定員/棟)



Aタイプの部屋
4人用2部屋
かわせみの宿
きじの宿
あおげらの宿

Cタイプ(3棟 — 8人定員/棟)



Cタイプの部屋
4人用2部屋
うぐいすの宿
ほおじろの宿
しじゅうからの宿

Bタイプの部屋
5人用2部屋
もずの宿
(車イス利用可能)
ひよどりの宿
めじろの宿
ふくろうの宿

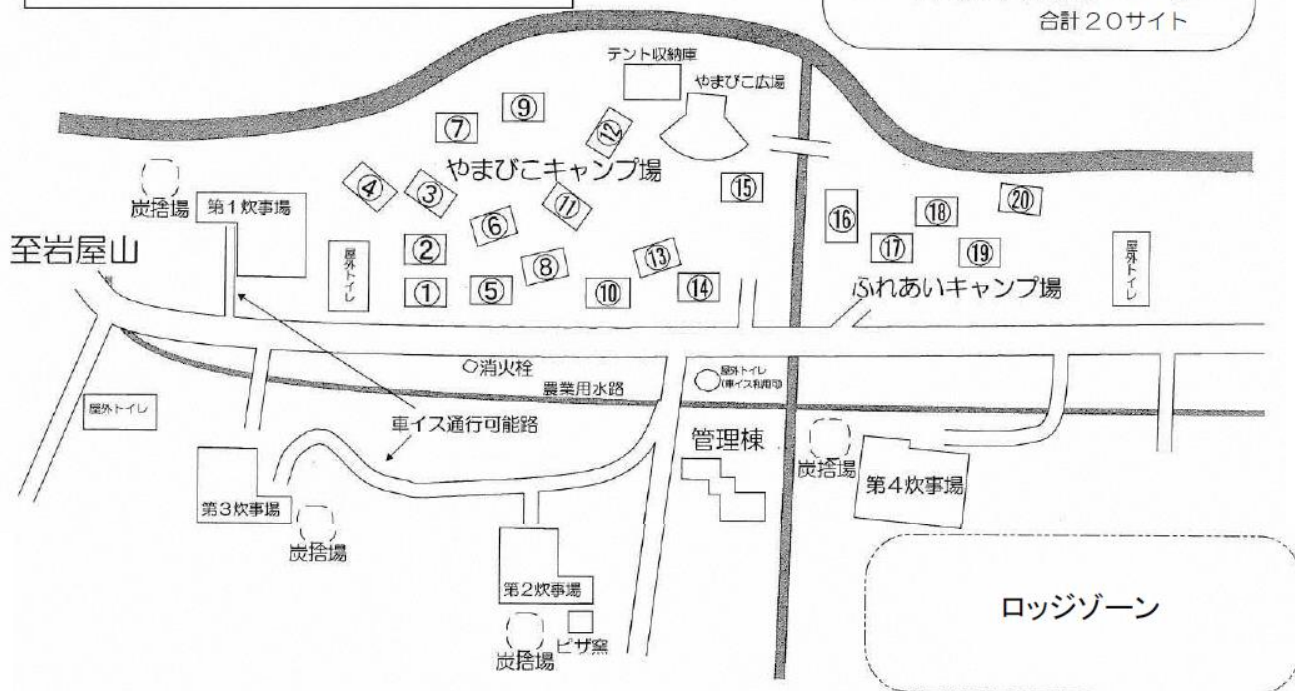
Bタイプ(4棟 — 10人定員/棟)



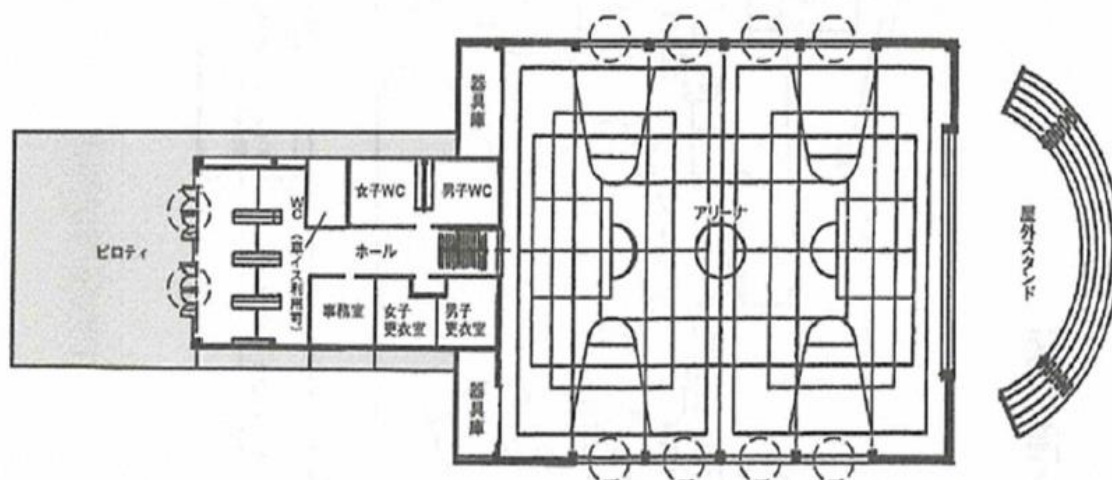
キャンプ場配置図

- 炊事場は、屋根付きですので、雨天時も活動に支障がありません。
- 農業用水路は、大切な用水ですので、木や石を投げ捨てたり、せき止めたり、食器を洗ったりは、絶対にしないでください。
- 道路を横断する場合は、車に十分注意してください。

多目的テントサイト(5m×3.5m)
やまびこキャンプ場・・・15
ふれあいキャンプ場・・・5
合計20サイト



体育館平面図



アリーナ (33m×27m) 891㎡(全体1228㎡)

バスケットコート 2面

バレーコート 2面

バドミントンコート 6面

※ (○)印は非常口

5. 施設写真

○本館エリア	
本館（玄関前）	本館（玄関ホール）
	
本館（廊下）	本館（食堂）
	
本館（宿泊室）	本館（宿泊室（バリアフリー対応））
	

本館（指導者研修室）	本館（指導者ミーティング室）
	
本館（男子トイレ）	多目的トイレ・エレベーター
	
本館（浴室）	本館（プレイホール）
	

本館（デッキテラス）	本館（創作と交流の広場）
	
本館（第1研修室）	本館（第2研修室）
	
本館（第3研修室）	本館（医務室）
	

○センターロッジ及びログキャビンエリア	
センターロッジ（玄関前）	センターロッジ（宿泊室）
	
センターロッジ（食堂）	センターロッジ（浴室）
	
ログキャビン（外観）	ログキャビン（室内）
	

○体育館・グラウンドエリア	
体育館（外観）	体育館（アリーナ）
	
グラウンド（第1グラウンド）	グラウンド（第2グラウンド）
	
グラウンド（第3グラウンド）兼第3キャンプファイヤー場	
	

○野外炊事場・キャンプエリア

野外炊事場（外観）



野外炊事場（調理・食事スペース）



やまびこ広場



テントサイト



○その他のエリア	
水と冒険の広場(魚のつかみどりの池)	水と冒険の広場(アスレチック遊具)
	
水と冒険の広場(アスレチック遊具)	第1 キャンプファイヤー場
	
第2 キャンプファイヤー場	第4 キャンプファイヤー場
	

6. 自然の家周辺の環境

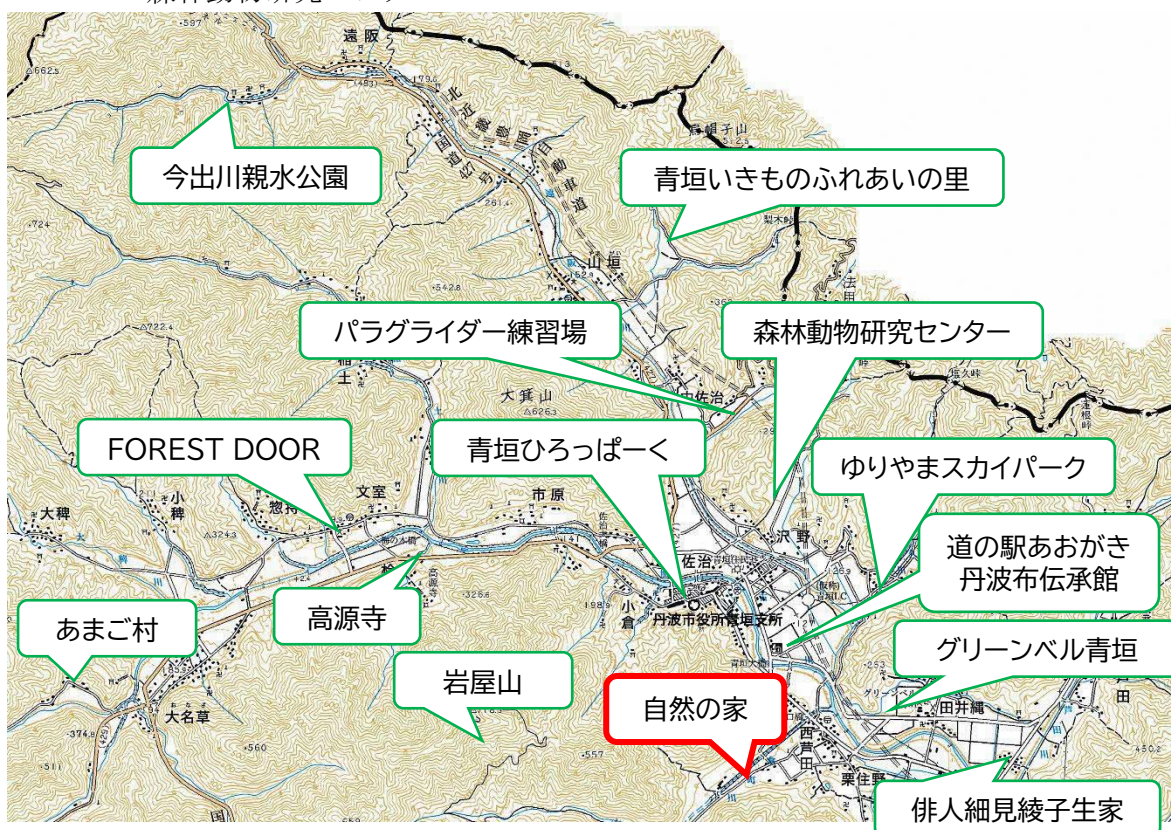
自然の家の周辺には、市関連施設を有しており、事務組合運営時にはその地域と連携した取組を実施していました。

(1) 青垣地域内の市関連施設の一覧

- ・道の駅あおがき
- ・丹波布伝承館
- ・青垣いきものふれあいの里
- ・青垣総合運動公園(グリーンベル青垣)
- ・俳人細見綾子生家
- ・初級パラグライダー練習場
- ・今出川親水公園
- ・青垣ひろっぱーく
- ・ゆりやまスカイパーク (もみじの里青垣) ※休館中

(2) 青垣地域内のその他、周辺施設等

- ・高源寺
- ・あまご村
- ・岩屋山
- ・FOREST DOORー旧神楽小学校ー
- ・森林動物研究センター



(3) 青垣地域以外の市関連施設

市ホームページ（観光関連）をご確認ください。



市ドライビングマップ

第3章 自然の家の管理運営体制

1. 自然の家の運営状況

(1) 利用状況

区分		利用人数				使用料収入		稼働率	
		宿泊利用		日帰利用					
H27	内	44,326	人	4,472	人	50,083	千円	31.2	%
	外	3,226	人	417	人				
H28	内	42,501	人	5,660	人	48,301	千円	29.9	%
	外	2,978	人	812	人				
H29	内	44,430	人	4,792	人	59,960	千円	33.4	%
	外	6,776	人	824	人				
H30	内	43,671	人	4,036	人	52,033	千円	31.3	%
	外	4,030	人	1,206	人				
R1	内	46,807	人	6,193	人	51,925	千円	32.2	%
	外	2,889	人	2,142	人				
R2※	内	1,937	人	7,982	人	3,201	千円	1.6	%
	外	91	人	362	人				
R3※	内	13,678	人	8,461	人	17,835	千円	10.6	%
	外	840	人	963	人				
R4※	内	16,844	人	6,993	人	23,002	千円	12.5	%
	外	1,737	人	1,436	人				
R5※	内	3,511	人	1,402	人	4,789	千円	10.2	%
	外	385	人	373	人				

- ・内：構成市町 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、丹波市、丹波篠山市の9市1町をいう（令和4年度末尼崎市脱退）
- ・外：構成市町外 上記構成市町以外の市町
- ・宿泊利用人数：1泊2日を1人として計上
- ・稼働率：年間宿泊利用者数÷（宿泊定員×開所日数）

※令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響により、宿泊需要が低迷する中での運営でした。また、令和5年度は事務組合解散のため、4月～6月の3か月間のみ利用を受け入れていました。

(2) 運営時の利用料金体系（令和5年度）

○使用料【宿泊利用の場合】

（単位：円）

施設区分		本 館		ロッジ		テント			
利用者区分		市町区分		内	外	内	外		
宿泊料 （1人1泊）	1. 教育課程に基づく学習活動を行う小学校又は中学校の児童生徒及びこれらの引率者 2. 少年団体の構成員及びその引率者 3. 保育園、幼稚園及び認定こども園における活動の一環として実施する行事に参加する園児並びにこれらの保護者及び引率者			840	2,100	840	2,720	630	1,780
	1. 家族 2. 研修計画に基づいて活動する成人グループ			1,050	2,720	1,780	3,670	テント 持参は 520	テント 持参は 1,570
	その他教育委員会が適当と認めた者 （高校生・大学生等）			1,050	2,720	1,150	3,140		
	備 考	宿泊利用は、午後1時30分から翌日の午後1時までとし、金額は1人1泊の料金とする。 但し、家族・グループ利用については、午後1時30分から翌日の午前10時までとする。							
寝具使用料	宿泊室で宿泊した者のシーツクリーニング料(1人4泊まで)						300		
	テントで宿泊した者の毛布使用料 1人1泊(2枚)						160		
電気自動車充電器利用料(充電設備は本館に設置)(1回)							210		

○使用料【日帰り利用の場合】

使用時間	9:00～13:00	13:00～17:00	17:00～21:00
使 用 料	150	150	150
備考 1. 金額は、1人当りの料金とする。 2. すべての施設が対象となる。 3. 特定の施設を使用せず、自然の家を拠点として活動する場合も含む。 4. 構成市町外は、倍額とする。			

(3) 歳入歳出の状況

新型コロナウイルス感染拡大前の収支の状況は次のとおりです。

【歳入】

(単位：千円)

項目	内訳	H29	H30	R1
負担金	—	135,373	141,402	140,870
施設使用料	—	59,960	52,033	51,925
施設整備基金 運用利子	—	158	169	188
施設整備基金 繰入金	—	3,845	0	0
前年度繰越金	—	21,897	22,199	27,315
諸収入	—	7,742	10,462	8,315
組合債	—	60,000	0	0
合計		288,975	226,265	228,613

- ・負担金は事務組合を構成していた市町より建設費や運営費として収入していました。
事務組合解散のため、事務組合構成市町からの負担金収入はありません。
- ・組合債とは、施設改修に要した借入金であり、令和5年度において償還済みです。

【歳出】

(単位：千円)

項目	内訳	H29	H30	R1
人件費	賃金	56,839	57,020	56,147
	共済費	14,731	14,490	14,177
	報酬	181	203	223
事務費	消耗品費	5,914	4,526	4,637
	印刷製本費	760	554	546
	通信運搬費	1,579	1,484	1,456
	旅費	100	83	61
維持管理費	燃料費	1,584	1,436	1,631
	光熱水費	20,113	19,591	19,144
	委託料	16,882	17,124	18,311
	使用料	10,040	9,748	10,000
	土地賃貸料	3,939	3,947	3,970
	修繕費	10,750	9,138	7,241

項目	内訳	H29	H30	R1
維持管理費	負担金	108	101	87
	手数料・点検料	2,258	3,124	2,576
	工事費	75,767	8,532	7,216
	公課費	2,504	0	4,345
イベント費	活動材料費	3,126	3,385	4,252
保険料	施設保険料等	991	915	1,029
備品費	備品購入費	3,019	1,925	4,513
その他	公債費	26,433	32,454	34,901
	施設整備基金積立	9,159	9,169	8,188
合計		266,777	198,949	204,651

(4) 各種許可（権利）情報

許可内容		箇所等	許可・届出日及び番号
河川占用許可	給水管	25.7m	令和2年3月9日 丹波(丹土)河第02-0089号の2
	排水管	25.7m	
	通路橋	38.55 m ²	

(5) 職員体制及び業務委託の内容

職員体制や委託していた業務は、以下のとおりです。

① 職員体制について（利用者数最多時（令和元年度））

雇用形態	役職	人数	雇用形態	役職	人数
正規	事務局長兼所長	1人	非正規	施設管理作業員	3人
正規	所長補佐兼出納員 (総務)	1人	非正規	夜間施設管理人 (利用者があるときの み2人ずつ対応 18時 ～翌8時)	9人
正規	係長 (事業)	1人			
正規	主幹 (事業)	1人	非正規 (時間給)	やまびこスタッフ (学生、社会人等) 夏休み、主催イベント 時に2～4人ずつ対 応	28人
正規	主査 (総務)	1人			
正規	主事 (事業)	3人			
合計		8人	合計		40人

② 業務委託の内容（令和元年度）

委託を行っていた業務は、以下のとおりです。

項目	外部委託先
厨房業務（食事提供、献立作成、飲食品、炊事材料の手配、自動販売機設置） ※委託料なし ※電気代のみ組合負担	株式会社喜作
ホームページ作成 （更新、記事掲載は職員で対応）	インフォテック株式会社
体験農園管理（耕耘、代かき、畝立てのみ） ※通常管理は職員が実施	近隣農家個人に委託
自然学校プログラム講師（星空観察）48校	・丹波こどもに星を語る会 ・個人（元小学校校長）
自然学校プログラム講師（丹波竜関係）21校	上久下地域自治協議会 （学校から直接依頼）
自然学校プログラム講師（丹波地域の環境学習川、間伐）7校	丹波県民局環境課が窓口 （学校から直接依頼）
自然学校プログラム講師（川）	青垣いきものふれあいの里 （学校から直接依頼）
シーツクリーニング業務（単価契約）	綿久リネン株式会社 近畿支店
アスレチック遊具点検調査	日本フィールドシステム株式会社
し尿処理施設維持管理点検業務	有限会社大起プラントサービス （R6：有限会社カワモト）
自家用電気工作物保安管理業務	一般社団法人関西電気保安協会 （R6：青垣電気設備管理事務所）
エレベーター保守管理業務	日本オーチスエレベータ株式会社 神戸支店
施設火災・防犯監視等業務	セコム株式会社
施設内美化・清掃等業務	丹波市シルバー人材センター
建物定期清掃業務（年1回 床・窓ほか）	株式会社タイヨウ物産
施設草刈業務（敷地内指定範囲 年1回）	丹波市森林組合
消防設備・非常放送設備点検業務	中丹防災
施設内汚水排水管洗管業務	有限会社大起プラントサービス
ばい煙濃度測定、報告業務	株式会社巴商会
給湯ボイラ点検整備業務	株式会社巴商会
施設内樹木伐採業務（枯松、支障木等）	丹波市森林組合

項目	外部委託先
地下タンク定期検査業務	舞鶴喜楽鋳業株式会社
衛生害虫防除	株式会社昭和リープス
厨房用一坪冷蔵庫保守管理	ホシザキ阪神株式会社三田営業所
防火対象物点検報告	中央設計株式会社
特殊建築物定期調査報告(3年ごと)	中央設計株式会社
寝具殺菌乾燥(年2～3回)	小山株式会社神戸営業所
寝具賃貸借(掛・敷・枕・毛布 500組)	小山株式会社神戸営業所

③ 自然学校用の体験活動プログラム(一例)

【野外活動】

サイクリング、自然発見ビンゴ、グリーンテーリング、天体観察、キャンプ、オリエンテーリング、フライングディスクゴルフ、キャンプファイヤーなど

【屋内活動】

キャンドルファイヤー、室内フォトビンゴ、デカンショ踊り

【野外炊事】

野外炊事、あまごのつかみ取り、うどん打ち体験、簡単パン・ナン・ピザづくり

【創作活動(クラフト)】

焼杉細工、竹とんぼづくり、草木染め、藍染め、しおりづくり、陶芸体験、トーチづくり、わら細工

【農業振興、観光振興等】

田植え・稲刈り体験、農作物収穫体験、畜産農家見学、近隣施設との連携した取組

2. 施設の変遷

(□=新設、○=改修等)

時期	内容
昭和 53 年	☐ 本館(宿泊室、食堂、事務室、会議室、トイレ、洗面所、浴室、ホール、機械室、ラウンジ、下足室)建設 ☐ 別館(第1体育館、1～3研修室)建設 ☐ キャンプ場(管理棟、やまびこ広場、屋外トイレ(2箇所)、共同炊事場)建設 ☐ 第1～2・4 キャンプファイヤー場建設

時期	内容
昭和 56 年	☐ 第 1 ～ 2 グラウンド・ 3 グラウンド兼第 3 キャンプファイヤー場建設 ☐ 車いす対応屋外トイレ（1 箇所）建設
昭和 57 年	☐ 共同炊事場 1 棟、交流広場、テントサイト建設
昭和 63 年	☐ 本館 厨房及び食堂拡張、指導員研修室増築、宿泊室空調設備設置
平成 2 年	☐ 本館 医務室及び指導員宿泊室増築、宿泊室改修
平成 3 年	☐ センターロッジ（宿泊室、ホール、浴室、トイレ）建設 ☐ ログキャビン（ミニキッチン・トイレ付 10 棟）建設 ☐ 第 2 体育館、水と冒険の広場（池）、第 4 炊事場、汚水処理施設、屋外トイレ（1 箇所）建設
平成 4 年	☐ ちびっこ交流広場及びフラッグポール建設 ☐ センターロッジ 医務室増築 ☐ 全館 施設間放送設備改修 ☐ ログキャビン インターホン設備取付
平成 6 年	☐ センターロッジ 食堂・厨房拡張、カフェテリア設備設置 ☐ 本館 食堂冷暖房設備・カフェテリア設備設置
平成 9 年	☐ テントサイト再整備 ☐ 本館及び別館 車イス用エレベーター設置（2 基） 2・3 階及び別館に車イス対応トイレ設置（3 箇所） ☐ 本館 車イス利用可能宿泊室への改修（2 室）、男子洗面所改修 女子洗面所新設（2 箇所）、浴室脱衣室床改修
平成 10 年	☐ 車イス対応屋外トイレ（1 箇所）・駐車場建設 ☐ 天体望遠鏡倉庫建設 ☐ センターロッジ 車イス対応トイレ・洗面所・脱衣室・浴室増築、ミーティング室増築 車イス対応宿泊室・医務室への改修、車イス対応スロープ設置 ☐ ログキャビン バリアフリー化（1 棟）
平成 12 年	☐ テント収納庫建設

時期	内容
平成 13 年	○創作と交流の広場 大屋根整備 ○本館 食堂横デッキテラス増築及び家具更新 ○全館 空調設備及び衛生設備更新 ○本館及びキャンプ場 トイレ改修（便器・ブース・防水・自動水栓・電気・機械共） ○本館 天井貼替え
平成 14 年	□第 1 ～ 3 炊事場建設 既存の共同炊事場撤去の上、大屋根布設の 3 棟建設 ○本館及び別館 第一体育館をプレイホールへ改修（照明設備、音響設備、空調設備、空調設備） ○本館 浴室改修
平成 16 年	○本館 指導者ミーティング室増築、アレルギー専用厨房施設設置
平成 17 年	○水と冒険の広場 遊具 5 基設置
平成 18 年	○水と冒険の広場 遊具 4 基設置
平成 19 年	○全館 防犯対策用監視カメラ設置（監視カメラ 4 台、集中管理システム） ○センターロッジ 空調設備更新（2 階宿泊室）（第 1 期）
平成 20 年	○センターロッジ 空調設備更新（1 階宿泊室）（第 2 期） 機械室拡張及び浴槽循環装置設置（シャワー室 3 室併設）
平成 21 年	○センターロッジ 浴槽ろ過循環装置・給湯循環ポンプ設置、ろ過配管整備 ○全館 非常放送設備機器更新
平成 22 年	○本館 耐震補強（宿泊棟・食堂棟・プレイホール棟） ○ログキャビン 空調設備更新 8 棟（16 台）（第 1 期）

時期	内容
平成 23 年	○ログキャビン 空調設備更新 2 棟（4 台）（第 1 期） ○センターロッジ 室外機更新、事務室集中管理システム入替、トイレブース取替工事
平成 24 年	○本館 浴室屋根改修（スレート瓦屋根張替）
平成 25 年	○センターロッジ 屋根改修（スレート瓦屋根張替） ○本館 照明器具 LED 化（宿泊室）、エアコン設置（食堂食品庫、医務室、指導者研修室）
平成 26 年	○本館 指導者研修室及びピロティ屋根改修（スレート瓦屋根張替） 照明器具 LED 化（廊下・事務室等）
平成 27 年	○センターロッジ 食堂屋根改修（スレート瓦屋根張替） ○全館 自動火災報知設備更新
平成 28 年	○本館 空調設備更新（厨房、指導員宿泊室、指導者研修室、医務室、会議室） 照明器具 LED 化（第 2 研修室） ○防犯灯、野外トイレ 照明器具 LED 化
平成 29 年	○体育館 屋根葺き替え ○本館 デッキテラス改修（第 1 期）、照明器具 LED 化（第 1・3 研修室） ○センターロッジ 空調設備更新（医務室、ホール） ○ログキャビン 照明器具更新（LED 化）
平成 30 年	○本館 デッキテラス改修（第 2 期）
令和 1 年	○センターロッジ 浴室屋根改修（スレート瓦屋根張替）、照明器具 LED 化（宿泊室） ○体育館 照明器具更新（アリーナ）
令和 2 年	○本館 トイレ洋式化（8 箇所）、高圧受変電設備更新 照明器具 LED 化（トイレ） ○センターロッジ 照明器具 LED 化（洗面所、脱衣室）

時期	内容
令和3年	○本館 地下タンク FRP 補修、厨房天井改修 ○センターロッジ 空調設備更新（食堂）
令和4年	○センターロッジ 加圧給水ポンプ更新

3. 修繕・改修について

下記は事務組合運営時に行われた「劣化診断調査」や維持管理の中で、修繕や改修が必要と判断されたもので、提案内容や現地確認により想定していない箇所、修繕等が必要となる場合があります。

（1）事務組合運営時の劣化診断調査により改修等が必要と想定される箇所

場所	改修箇所	備考
共通	本館及びセンターロッジ合併処理施設（浄化槽）	全面改修必要
本館	屋根（プレイホール除く）	全面改修必要
	渡り廊下	雨漏りにより劣化部分改修必要 （腐食部あり、調査によって大規模改修必要）
	男子浴室	壁水漏れによりシーリング対策必要
センターロッジ	医務室及びミーティング室屋根	屋根改修必要
ログキャビン	屋根	屋根改修必要
	外壁及び内壁（10棟）	腐食箇所改修必要
	もずの宿天井	害獣侵入により改修必要 他のロッジも対策必要
	玄関周り	玄関扉枠の腐食、劣化により改修必要

（2）事務組合運営時の維持管理の中で、改修等が必要と想定される箇所

場所	改修箇所	備考
本館及びセンターロッジ	厨房機器	経年劣化により設備更新必要
	カフェテリア設備	設備更新または部品交換必要
	創作と交流の広場（デッキテラスガラス部）	雨漏りによりシーリング対策必要
本館	食堂空調設備	経年劣化により機器更新必要
	宿泊室空調設備	経年劣化により機器更新必要

	プレイホール空調設備	経年劣化により機器更新必要
	研修室空調設備	経年劣化により機器更新必要
	トイレ洗面台自動水栓	修繕必要
	各浴槽ろ過剤	循環ろ過装置ろ材の交換必要（2基）
	屋内消火栓ポンプ	経年劣化により消火栓ポンプ更新必要
	浴室ボイラ	経年劣化によりボイラ更新必要
	各浴槽の配管	長期休止のため、配管洗浄必要
	プレイホール照明器具	水銀灯電球製造中止による
	発電機	経年劣化により機器更新必要
	ボイラ用オイルギアポンプ	センサー故障によりオイルタンク改修必要
	非常照明設備・誘導灯設備	長期休止のため、動作確認及び必要箇所の改修
	外壁	ひび割れ、腐食等の劣化により塗膜剥離部の補修必要
	厨房内水漏れ修理	厨房床面コンクリート内での水漏れにより改修必要
センター ロジ	非常照明設備・誘導灯設備	長期休止のため、動作確認及び必要箇所の改修
	各浴槽ろ過剤	循環ろ過装置ろ材の交換必要（1基）
	各浴槽の配管	長期休止のため、配管洗浄必要
	浴室ボイラ	ボイラ更新必要
	厨房空調設備	経年劣化により機器更新必要 （臨時措置により据置型の空調設置）
	食堂の空調を除く空調設備	経年劣化により機器更新必要
ロジ	ロジ空調設備	経年劣化により機器更新必要
体育館	バスケットゴールウインチ	新たな機器設置必要
管理棟	管理棟屋根	改修必要
炊事場	第1～第4炊事場屋根（第4炊事場の一部除く）	全面改修必要
	第1～第4炊事場かまど	全面または部分改修必要
屋外 トイレ	屋外トイレ（3箇所）屋根	全面改修必要
	屋外トイレ（本館横）	根詰まりにより、撤去、解体、建替え必要
その他	施設内外灯	水銀灯電球製造中止による
	テントサイト（20箇所）	全面改修必要
	アスレチック遊具	遊具点検・整備必要

	グラウンド	排水のレベル調整、土入れ等整備必要
--	-------	-------------------

(3) その他の留意事項（詳細協議において事業者との協議が必要な事項）

場所	該当箇所	備考
体育館	アリーナ大扉開閉装置	修理業者が見つからないため、修理不能
その他	水道バルブ 本館・ロジ系統分岐バルブ	バルブ修繕必要 水道修理時は本バルブで止水は可能
	監視カメラ更新	施設内4箇所（本館1階リーダー室前、指導者研修室出入口外側、研修室出入口外側、センターロジ玄関外側）
	非常放送設備、火災報知設備 の全体見直し	全体更新等検討

丹波市ふるさと創造部総合政策課政策係（事務局）
〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地
TEL：0795-82-0916 FAX：0795-82-5448
E-mail：sougouseisaku@city.tamba.lg.jp